# 日本マニュアルコンテスト 2015

## 募集案内

《募集期間》
2015 年 3 月 2 日（月）～2015 年 4 月 24 日（金）

主催：一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
運営：日本マニュアルコンテスト 2015 実行委員会
後援：経済産業省（予定）

## ■ テクニカルコミュニケーター協会の沿革

1991:　第 1 回日本マニュアルコンテスト。主催 STC 東京支部。

1992.1:　任意団体テクニカルコミュニケーター協会（TC 協会）設立。

1992.6:　「マニュアル評価ガイドライン」発行。

1997:　日本マニュアルコンテスト TC 協会と STC 東京支部の共同開催になる。TC 協会ホームページ開設（http://www.jtca.org）。

1998.4:　「電子マニュアル評価ガイドラインに関する調査報告書」発行。

2000:　日本マニュアルコンテスト TC 協会の単独主催になる。

2006.5:　「IEC62079 Part2 取扱説明に関する標準の原案」を IEC に提出。これが後の IEC 82079-1 の原案となる。

2009.1:　一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会として法人登録完了。

2009.2:　機関誌「Frontier（フロンティア）」の創刊号を発行。

2009.8:　実用文向け作文技術の解説書「日本語スタイルガイド」を出版。

2010.8:　第 1 回 TC 国際円卓会議を京王プラザホテルで開催。主催は TC 協会およびドイツの tekom。以降毎年秋に日本とドイツで交互に開催。

2012.8:　使用説明の国際規格 IEC 82079-1、ISO および IEC から発行。

2014:　評価基準として IEC82079-1:2012 で規定されている記載要件を取り込む。

2014.5:　日本マニュアルコンテスト 2014 から経済産業省の後援認定行事となる。

# ■ 概要

## ■ 開催趣旨

「日本マニュアルコンテスト」は一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会（以下、「TC 協会」）が「日本マニュアルコンテスト憲章」に則って主催する、日本で唯一の使用情報のコンテストです。「使い方をわかりやすく伝えたい」という、マニュアル制作に携わる人々の思いがこのコンテストを支えています。
コンテストの趣旨と結果は近年、中国や韓国などのアジア諸国はもちろん、ドイツやアメリカといった欧米諸国でも注目されています。
TC 協会ではコンテストの開催を通じて、マニュアルの制作技術と品質を向上し、安全でわかりやすい製品の使い方をユーザーに提供することを目指しています。趣旨をご理解の上、奮ってご応募ください。

「日本マニュアルコンテスト憲章」は、「日本マニュアルコンテスト」のウェブサイトでご覧になれます。
（http://www.jtca.org/tc_award/index.html）

## ■ 審査

審査は、TC 協会によるマニュアル評価の講習を受けた審査委員による 1 次審査、コンテスト実行委員会による 2 次審査、有識者による最終審査を行います。
出品マニュアルへの評価コメントをフィードバックしますので、マニュアルの品質向上にご活用ください。

## ■ 審査結果

受賞作品は、「テクニカルコミュニケーションシンポジウム 2015」（以下、「TC シンポジウム 2015」）会場で表彰、受賞理由とともに展示します。また、TC 協会ウェブサイトおよび「日経デザイン」誌上でも公表の予定です。

昨年度の詳細は、「日本マニュアルコンテスト」のウェブサイトでご覧になれます。
（http://www.jtca.org/tc_award/index.html）

### ● 賞

| 名称 | 対象 | 選定する作品 | 表彰 |
|---|---|---|---|
| マニュアル オブ ザ イヤー | 全部門から1点 | 最も優れた作品、ノミネート作品からプレゼンテーションを経て選定 | 賞状、盾、トロフィー |
| 最終審査委員特別賞 | 全部門 | 最終審査委員が特別に評価する作品 | 賞状、盾 |
| 最優秀賞 | 部門ごと | | 賞状、盾 |
| 優秀賞 | 部門ごと | | 賞状、盾 |
| 優良賞 | 部門ごと | | 賞状、盾 |
| デザイン賞 | 全部門 | 特にデザインが優れている作品 | 賞状、盾 |
| 安全賞 | 全部門 | 特に安全に関する情報をユーザーの側に立って記載した作品 | 賞状、盾 |
| 企画賞 | 企画賞にエントリーした作品 | 「企画賞」へエントリーされた作品、かつ、制作意図が優れているもしくはユニークであり、的確に実現された作品 | 賞状、盾 |

## ● マニュアル オブ ザ イヤーの受賞作品紹介

| 年 | 受賞作品 | 応募部門 | 受賞者 |
|---|---|---|---|
| 2002 | CyberSupport Ver.3.1 for VAIO | 電子 | ソニー(株) |
| 2003 | A1301S 基本操作ガイド(au 向け 携帯電話) | 紙 | ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(株) |
| 2004 | IH クッキングヒーター取扱説明書<br>「かんたん IH ブック」 | 紙 | 松下電器産業(株) |
| 2005 | Canon EOS Kiss Digital N 使用説明書 | 紙 | キヤノン(株) |
| 2006 | FUJI XEROX ApeosPort と DocuCenter 用<br>スキャンの本 | 紙 | 富士ゼロックス(株) |
| 2007 | ビエラ・ディーガ CSサイト<br>「使い方ナビゲーション／つなぎ方ナビゲーション」 | Web | 松下電器産業(株) |
| 2008 | ビクター液晶テレビ EXE「お助けガイド」 | 組み込み | 日本ビクター(株) |
| 2009 | Odyssey オーナーズマニュアル | 紙 | 本田技研工業(株) |
| 2010 | ビエラで見る Web マニュアル<br>「ネットで使い方ガイド」 | Web | パナソニック(株) |
| 2011 | ダイキン エコキュート 取扱説明書 | 紙 | ダイキン工業(株) |
| 2012 | ダイキンエアコン 取扱説明書 | 紙 | ダイキン工業(株) |
| 2013 | システムバスルーム サザナ HD/マンションリモデル<br>バスルーム WF/WT 取扱説明書 | 紙 | TOTO(株) |
| 2014 | お施主様向け取扱説明書<br>使い方＆お手入れガイドブック 窓・ドア編 | 紙 | YKK AP(株) |

※名称は受賞当時

## ● 「JMA (Japan Manual Award)」ロゴの使用権を付与

日本マニュアルコンテストで入賞すると、「JMA」ロゴをお使いになれます。
「JMA」ロゴは、入賞作品はもちろん、該当製品のカタログ、ウェブサイトなどメディアを問わずに表示できますので、「使い方がわかりやすい！」とお客様に効果的に訴求できます。

# ■ 募集要項

## 1. 応募資格

「3.応募部門」のマニュアル制作にかかわる企業もしくは個人とします。

## 2. 対象マニュアル

「2014 年 1 月以降に販売されている、商品（製品または特定のサービス）に関する日本語のマニュアル」を対象にします。

※ 日本語であれば、制作および印刷した国や地域は問いません。

※ 過去に応募したマニュアルは除きます。

## 3. 応募部門

応募部門は下記の 5 部門です。

対象部門が不明な場合は、「日本マニュアルコンテスト 2015」実行委員会にご相談ください。

### ● 紙マニュアル

製本した冊子マニュアルまたは印刷を前提とした PDF、シートマニュアル、製品包装パッケージに印刷したマニュアル

| | 部門名称 | 対象 | 具体例 |
|---|---|---|---|
| 1 | 一般部門 | 一般ユーザー向けの製品/サービスのマニュアル | 主に家庭で使うマニュアルなど |
| 2 | 業務部門 | 業務ユーザー向けの製品/サービスのマニュアル | ・主にビジネス、オフィスで使うマニュアルなど<br>・その製品やサービスを使うための訓練や資格が不要なもの |
| 3 | 産業部門 | 産業ユーザー向けの製品/サービスのマニュアル | ・製造現場、研究所など、納品先に応じて仕様が設定される製品のマニュアル<br>・その製品やサービスを使うための訓練や資格が必要なもの |

注 1） 印刷を前提とした PDF マニュアルは、プリントアウトして応募する。

注 2） 分冊の場合は、そのうちの1冊のみを審査。

### ● 電子マニュアル

画面で見ることを前提にしたマニュアル（PDF マニュアルを含みます）

| | 部門名称 | 対象 | 具体例 |
|---|---|---|---|
| 4 | 電子マニュアル部門 | ・製品本体の画面で見るマニュアル<br>・製品本体以外の画面で見るマニュアル | ・本体画面で見るスマートフォンのマニュアル、カメラやテレビの組み込みマニュアルなど<br>・テレビに表示する BD レコーダーのマニュアル、パソコン画面などで見る Web アプリのマニュアル、スマートフォンのアプリのマニュアルなど |

注 1） インストールするものは、アンインストールプログラムを添付する。

注 2） メモリー容量など特別な動作環境が必要な場合は、それらの条件を明示する。

注 3） ウイルス感染がないこと。

### ● 総合

製品のすべてのマニュアル（少なくとも紙マニュアルと電子マニュアルが 1 点含まれること）

| | 部門名称 | 対象 | 具体例 |
|---|---|---|---|
| 5 | 総合部門 | 製品のマニュアル一式:<br>紙マニュアルのみ、電子マニュアルのみ、の応募は不可。 | 紙のインストールマニュアルと電子の操作マニュアル、紙の設置マニュアルと組み込みマニュアルなど |

# ■ 応募方法

## 1. 提出物

1 件の応募につき、以下を提出してください。
提出物は原則として返却しません（応募作品が製品に組み込まれている場合は除く）。

| 部門 | | 提出物 |
|---|---|---|
| 紙マニュアル | 一般部門<br>業務部門<br>産業部門 | □応募用紙×1<br>□マニュアル※1×5<br>□製品（産業部門のみ※5）<br>□補完情報※1×5（応募マニュアル以外のマニュアルなどを提出する場合）<br>□制作意図のわかる資料（任意）×1（企画賞にエントリーする場合） |
| 電子マニュアル部門 | | □応募用紙×1<br>□マニュアル×以下に示す員数<br>製品本体で表示するマニュアル：製品※2×1（送付できる場合）<br>別画面で表示するマニュアル：メディア※3×5（メディアで提供している場合）<br>□補完情報※1×5（製品に付属する紙マニュアルなどを提出する場合）<br>□制作意図のわかる資料（任意）×1（企画賞にエントリーする場合） |
| 総合部門 | | □応募用紙×1<br>□企画書※4×1<br>□紙マニュアル※1×各 5<br>□製品※2×1（組み込みマニュアルがあり、製品を送付できる場合。審査後に返却）<br>□メディア※3×各 5（メディアで提供している場合）<br>□補完情報※1×5（企画書を補足する資料を提出する場合） |

※1　マニュアル（製品添付版）を 5 部用意できない場合は、製品添付版 1 部 + コピー製本版 4 部、または、製品添付版 1 部 + PDF 格納メディア 4 枚でも可とします（紙マニュアルの場合、補完情報もそれに準ずる）。
※2　送付された製品は審査後返却します。送付できない製品は、審査委員が出張します。
※3　総合部門以外では、マニュアルが複数のメディアで構成されていても、応募メディアのみが審査対象になります。
※4　製品が使われる環境、対象ユーザー、想定する使われ方などから、どのようなコンセプトで、使用説明情報をどのように分割構成したかなど、制作の狙いや意図がわかる資料。
※5　産業部門は、実際に製品を見ながらマニュアルを審査するため、出張審査が基本になります。製品送付を希望する場合は、送付前にテクニカルコミュニケーター協会まで相談してください。

## 2. 提出先

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 4-22-15
一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会「日本マニュアルコンテスト 2015」実行委員会
TEL:（03）3368-4607

## 3. 応募締切

2015 年 4 月 24 日（金）必着

## 4. 応募費

応募マニュアル 1 件につき
TC 協会会員：30,000 円　非会員：40,000 円　（振込手数料別）
応募受付後、請求書を発行しますので、所定の口座に 30 日以内にお振り込みください。

## 5. 留意事項

・実行委員会は、特殊な分野の製品マニュアルなど、「審査が困難である」と判断した場合は、応募をお断りすることがあります。その際、応募費払込み済みの場合はお返しします。
・著作権を代表する者以外の方が応募する場合、事前に著作権者に承諾を得てください。
実行委員会は、応募をもってこの条件はクリアー済みとみなします。
・受賞した際には、PDF データ、および、展示用に製品添付版のマニュアルを追加で 2 部ご用意いただきます。また、「TC シンポジウム 2015」の東京および京都会場に対象製品の展示をお願いすることがあります。
・TC 協会は、受賞作品を応募者の許可なく、出典を明示して出版物などに使うことがあります。
また、表彰式や最終審査会（プレゼンテーション含む）の写真、動画（ビデオなど）を、出版物および Web 上に使うことがあります。

## ■ 審査方法

審査は 1 次審査、2 次審査、最終審査に分けて行います。

### 1. 審査基準

TC 協会が制定した審査基準で行います。

### 2. 1 次審査

TC 協会によるマニュアル評価の講習を受けた審査委員が審査します。
審査基準に従った評点を複数名で付し、改善すべき点などのコメントをそれぞれ作成します。

### 3. 2 次審査

実行委員会が審査します。
一定の基準点をクリアーした応募作品から、各賞の候補を選びます。
「企画賞」は、「企画賞」の応募作品から一次審査の評点には捉われずに候補を選びます。

### 4. 最終審査（部門賞、マニュアル オブ ザ イヤー）

学識経験者、消費者保護活動などテクニカルコミュニケーションの有識者が審査します。

2 次審査で選ばれた各賞の候補は、最終審査委員が審査して承認します。なお、全部門を通じて最終審査委員が特別に評価する作品に対しては、最終審査委員特別賞が与えられます。

マニュアル オブ ザ イヤーは、2 次審査を通過したマニュアルの中から最終審査委員によりノミネート作品が選定され、TC シンポジウムにおける応募者によるプレゼンテーションを経て、決定されます。

**＜最終審査委員＞**
2014 年の委員各位は下記のとおりです（敬称略、五十音順、肩書は 2014 年当時）:

市川 美知　産業能率大学 情報マネジメント学部 兼任講師
大村 宏之　一般社団法人 日本食品機械工業会 事業部 部長
坂野 公一　welle design 代表／グラフィックデザイナー
徳田 直樹　一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会 副評議員長
長田 敏　独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 参事官
山根 香織　主婦連合会 会長
綿井 雅康　十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授

## ■ 結果

・応募者へは、1 次審査の評点とコメントをフィードバックします。
・受賞作品は、「TC シンポジウム 2015」会場に、受賞理由とともに展示します。
・コンテストの結果報告は、「日本マニュアルコンテスト」のウェブサイトに掲載します。
（http://www.jtca.org/tc_award/index.html）

## ■ スケジュール（2015 年）

3 月　2 日（月）　　募集開始
4 月 24 日（金）　　募集締切
5 月～7 月 上旬　　1 次審査、2 次審査、最終審査（部門賞）
8 月 上旬　　　　　応募者への結果の通知
8 月25 日（火）～26 日（水）「TC シンポジウム 2015（東京）」で、「マニュアル オブ ザ イヤー」以外の各賞の表彰と展示
10 月 7 日（水）～9 日（金）「TC シンポジウム 2015（京都）」で、「マニュアル オブ ザ イヤー」の最終審査と表彰、および受賞全作品の展示

## ■ 個人情報の取り扱いについて

TC 協会のウェブサイトに記載のサイトポリシーに従います。
(http://www.jtca.org/policy.html)

「日本マニュアルコンテスト 2015」のお問い合わせは

〒169-0074 東京都 新宿区 北新宿 4-22-15
一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会
「日本マニュアルコンテスト 2015」実行委員会
TEL：（03）3368-4607　FAX：（03）3368-5087